



大阪対ガン協会報

発行 財団法人 大阪対ガン協会 〒530-8211 大阪市北区中之島3-2-4 朝日新聞社内
TEL 06-6201-8029 FAX 06-6201-8615 E-mail : office@osakacancer.jp

がん征圧月間、多彩な催し

がん征圧月間の9月を中心に多彩な催しが開催されます。

10日には福井市のフェニックスプラザで「2010年度がん征圧全国大会」があります。大会テーマは「今こそがん征圧 フェニックスの誓い」。大会アピールのほかアグネス・チャン日本対がん協会ほほえみ大使の記念講演、全国巡回がんセミナーなど。

大阪対ガン協会は5日に朝日がんセミナーを主催、秋のがん検診を10月15日まで受け付けます。詳細は4ページをご覧ください。

「がん予防キャンペーン大阪2010」は10月1日に大阪府医師会館で開かれます。「肺がん～予防・検診から治療まで～」をテーマにシンポジウムとミニコンサートがあります。大阪がん予防検診センター（06-6969-0676）にお問い合わせください。



9月5日に大阪で朝日がんセミナー「もっとがん検診」

9月5日午後1時から、大阪市中央区北浜東「エル・おおさか エル・シアター」で朝日がんセミナー「もっと健康、もっとがん検診」(朝日新聞社、大阪対ガン協会、日本対がん協会主催)を開きます。フリーアナウンサーの木佐彩子さんによるがん検診体験レポートのほか、子宮がん征圧に向けた取り組みの講演や、家族にがん患者を持つ方を交えたパネルディスカッシ

ョンなど、がんと検診、健康を幅広く考えます。定員は800人で申し込み多数の場合、抽選。入場無料。講演は大道正英・大阪医大教授による「新たな子宮頸がんの予防戦略～予防ワクチンと検診の重要性～」など。

大阪対ガン協会の会員に限り、電話申し込み(06-6201-8029)を受け付けます。ただし満席の場合はご容赦願います。

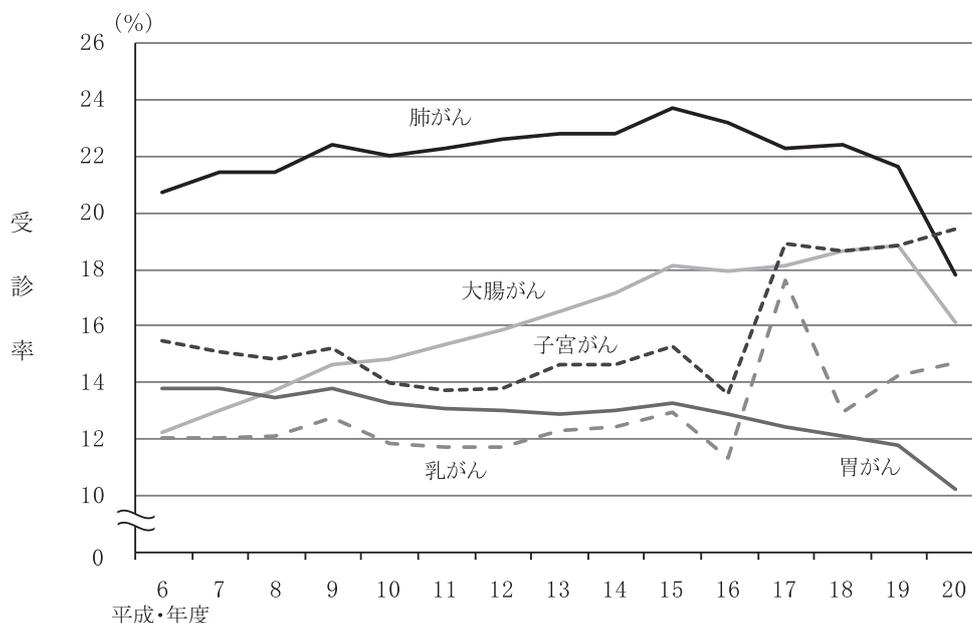
下がってしまった がん検診受診率

50%達成はピンチに がん対策推進基本計画

厚生労働省が4月に公表した、2008年度に市区町村が実施したがん検診の受診率低下データが波紋を広げています。大腸がん検診は前年度まで受診率が上昇傾向でしたが、2.7ポイント下がり16.1%に低下、前年度唯一20%を超えていた肺がんは

17.8% (3.8ポイント減)、胃がんは10.2% (1.6ポイント減)と下がりました。一方、子宮がんは19.4% (0.6ポイント増)、乳がんは14.7% (0.5ポイント増)とわずかに上昇しました。

がん検診受診率の年次推移



注: 1) 受診率=(受診者数/対象者数)×100

平成18年度「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の改正に伴い、平成17年度から「子宮がん」及び「乳がん」の受診率の算出方法を変更した。受診率=(前年度の受診者数+当該年度の受診者数-2年連続の受診者数)/(当該年度の対象者数)×100

2)平成17年度以降の受診率は、計数不明を除く。

3)「受診者数」については、「Ⅲ用語の解説」参照。

4)平成18年度以降の「乳がん受診者数」については、視触診方式及びマンモグラフィの併用者を計上。

(厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/c-hoken/08/dl/date03.pdf> から)

がん対策推進基本計画には「がん検診の受診率について、欧米諸国に比べて低いことも踏まえ、効果的・効率的な受診間隔や重点的な受診勧奨すべき対象者を考慮しつつ、5年以内に、50%以上(乳がん検診、大腸がん検診等)とすることを目標とした」とあり2011年度末が期限です。引用した上記グラフを見ると、この目標達成がピンチになっ

ていることは明らかでしょう。

受診率低下の要因として指摘されているのが2008年度に始まった特定健診の影響です。特定健診とはメタボリックシンドローム健診のことで、受診率が低くて保健指導での改善が無かったら、市町村や健康保険組合に対して後期高齢者医療制度への支援額を増やすペナルティを課しました。

このインセンティブは強烈ですから、本当は重要である、がん検診よりもメタボ健診に力が入って当然でしょう。

もっと本質的な問題に、がん検診の主体があいまいになっている点があります。坪野吉孝・東北大教授が7月に朝日新聞「私の視点」欄で「現行のがん対策基本法には、どこが責任を持って推進するのか、検診の実施主体を定めた条文がないこ

とをご存じだろうか」と問いかけ、国の責務を明確にし、きちんとした財政措置を講じるよう訴えています。

大阪のがん死亡率は下に引用したグラフの通り、依然として全国最悪レベルです。がん検診受診率も死亡率と同様で、47都道府県の中で43～47位と低迷しています。

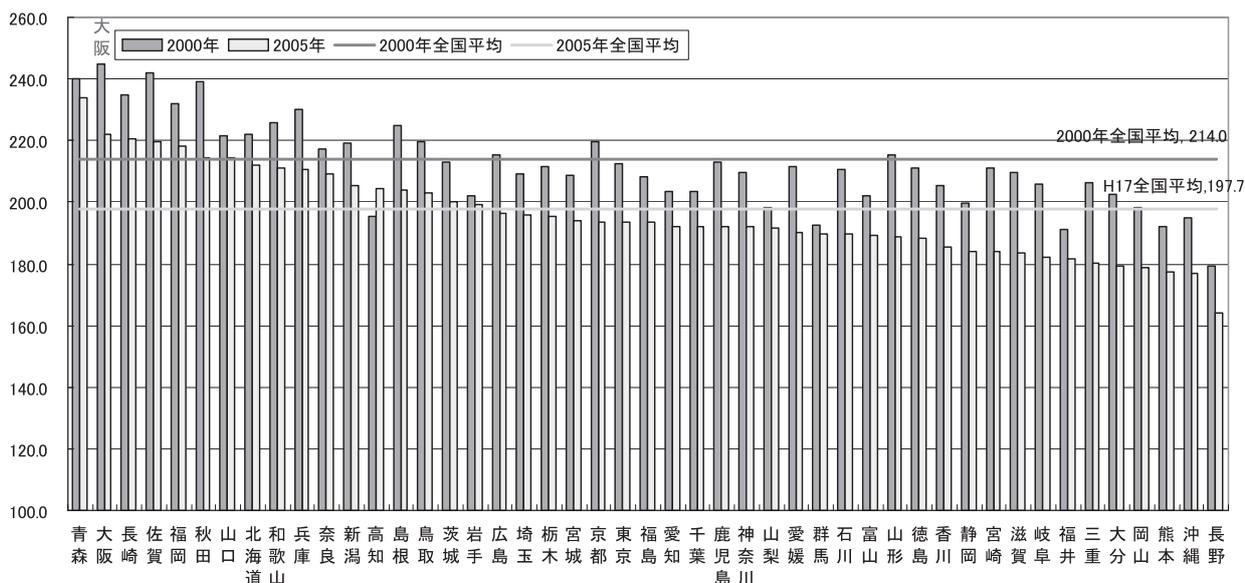


図1 年齢調整死亡率（人口10万対）－悪性新生物、男性

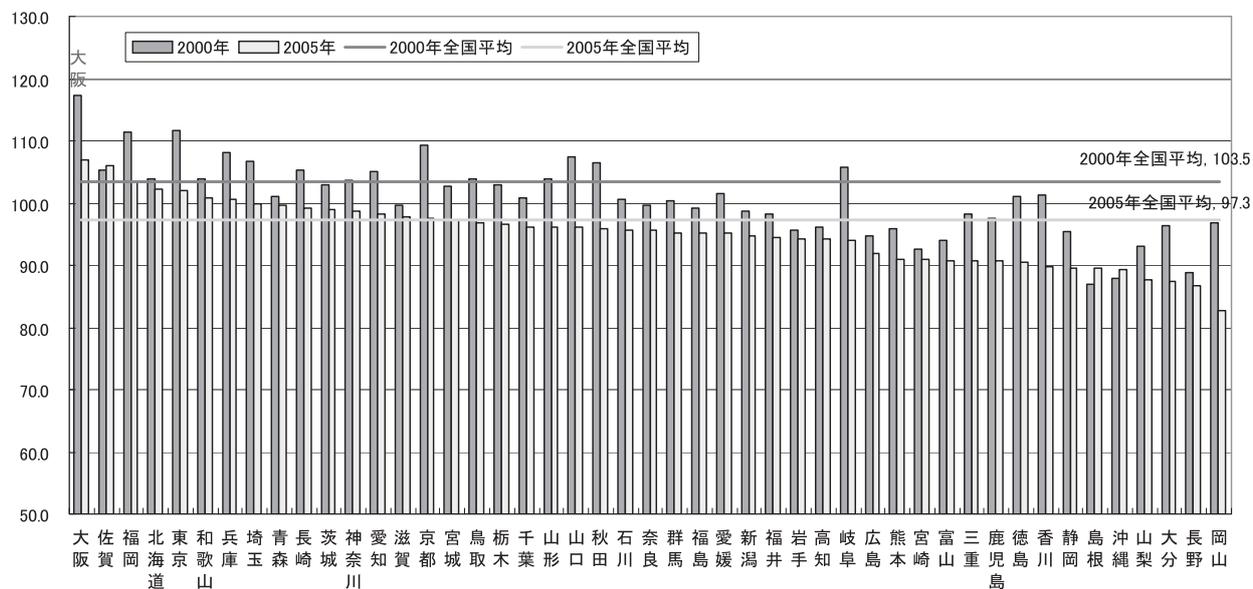


図2 年齢調整死亡率（人口10万対）－悪性新生物、女性

(大阪府 <http://www.mc.pref.osaka.jp/ocr/general/text/genjyo.pdf> から)

秋のがん検診 10月～11月に実施

申し込みは10月15日(金)まで

- 検診機関 大阪府医師会保健医療センター
〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町19番14号
- 検診期間 10月1日(金)から11月30日(火)まで
- 申込期間 9月1日(水)から10月15日(金)まで
- 検診項目 (料金は、いずれも消費税等を含みます。)

胃 部

X線直接撮影 (7,500円)

◎午前を受診の方 前夜の夕食は午後9時頃までに摂り、就寝までお茶等は摂れません。検査当日の朝は絶飲食(禁煙)が原則ですが、喉が渇く場合は、午前7時頃までコップ半分程度のお水は、摂れます。

◎午後を受診の方 当日の朝は午前8時頃までに食パンとレモンティー(砂糖抜き)程度を摂ってください。それ以降は絶飲食(禁煙)です。

肺 部

X線直接撮影 (1,900円) 喀痰細胞診 (2,800円)

胸部ヘリカルCT (8,400円)

乳 腺

視触診 (2,500円)

視触診+乳腺超音波 (39歳以下) (5,000円)

視触診+マンモグラフィ2方向 (40歳代) (6,000円)

視触診+マンモグラフィ1方向 (50歳以上) (5,000円)

乳がん検診関連学会の基準により、年齢に応じ、超音波(エコー)又はマンモグラフィをお勧めいたします。

子 宮

子宮がんを主とする細胞診

頸部 (3,500円) 頸部+体部 (7,000円)

大 腸

免疫学的便潜血反応 (1,500円)

お申し込み受付後に送付する検便キットを、採便後、当センターまでご持参いただく形式となります。

◎人間ドックのお勧め 各種のがん検診を始め、生活習慣病検診をセットにした人間ドックを実施いたしております。午前中の半日ドックAコース・半日ドックBコース、レディースコース(1日)などで、対ガン協会の会員の皆様には、割引料金にて受診いただけます。詳細は、当センターにお問い合わせください。

検診の申し込みは 電話で

大阪府医師会保健医療センター 電話 **06-6768-1450**

受付時間：月曜日～金曜日(祝日を除く) 10時～12時 13時～16時

※「大阪対ガン協会のがん検診希望」と言うてお申し込みください。
後日、ご自宅に受診票をお届けいたします。